

めぐみ

ガラシアニュース

<http://www.gratia.or.jp/>

2019

No. 161



目次

巻頭言「共に」

2019年4月15日増築北館祝別式

新入職員紹介

北館利用開始とホスピス棟移転について

記憶力を鍛える生活習慣について

ニューライフガラシアだより「鯉のぼり作り」

お知らせ

●ガラシア病院増改築工事に伴い、2019年6月から箕面市東部高齢者くらしサポート（箕面市東部地域包括支援センター）が奥自治会館2階へ仮移転いたします。電話番号・FAX番号・窓口開設時間は変わりません。

●糖尿病教室
2019年6月12日(水) 12:50～14:10 (受付12:30)
7階ガラシアホール



「共に」

現代社会では、特に先進国と言われる国々において、「個人主義」というものは、一つの特徴として挙げられています。それは、人間一人ひとりの必要とする自立を指しているのではなく、人との関わりを避ける状況を表している表現です。頼りになる人より、頼りになるものを重んじられている傾向を表していると思います。

確かに、人間は一人で生きていけない存在です。赤ん坊の場合は、それを否定することは不可能です。また、子供から青年へと成長していくときも、共に歩む人がどうしても必要と言えるでしょう。家庭、職場、近所、様々なグループなどのことを考えると、他の人々との関わりは、どれだけ大事であるかを感じます。

しかしながら、現代社会の中で、「個人主義」の傾向が見られるということは否めない現実です。「自分の時間」、「自分の計画」、「自分の利益」、「自分の趣味」などと言って、それらを何よりも優先させるということです。元気なときは、それでいけると思いがちですが、頼りになっていた健康が何かの理由で少しでも崩れてくると、不安

が生じます。孤独を感じます。その中で、人間の心の奥深いところに刻まれているにもかかわらず、どこかへ追いやられてしまっていた「共に生きる」という願望がよみがえってきます。

ガラシア会では、訪れる患者のこういう願望に、まず、応えたいのです。本当に心から関わることを大事にするのは、ガラシア会の基本方針の第一です。「病める人の立場に立ち、慈しみの心をもって医療を行います」と書いている通りです。いうまでもなく、最善の医療ケアを行います。同時に心のケアにも焦点を当てています。それこそ、カトリック施設としての特徴です。言い換えれば、「共に苦しみを担う、共に不安を乗り越えていく、共に光を探す、共に希望を見出していく、共に一日一日を大事に生きる、共に感謝の心を分かち合う」ということです。



医療法人ガラシア会 理事
ヨゼフ・アベイヤ
補佐司教

2019年4月15日 増築北館 祝別式

2018年1月から1年3か月を経て北館（緩和ケア〔ホスピス〕病棟）が完成し、2019年4月15日に大成建設株式会社から引渡しを受けました。

新たな法人の施設であり、これから何十年もの間ご利用の皆様のお役に立てるようにと当法人理事長 前田万葉大司教の司式の下、祝別式が行われました。当日は、前田万葉理事長、ヨゼフ・アベイヤ補佐司教、梅原 彰神父、松本信愛神父の司式により、法人関係者、

病院関係者、設計会社、施工会社、来賓の皆様が北館に集まり、厳かな雰囲気の中で執り行われました。式の中で、司式者により北館すべての部屋を聖水撒布で祝福されました。

前田万葉理事長のお話の中で、新しい元号となる5月1日から利用開始に寄せた『令和へとガラシア会や風光る』と『令和へとガラシア会や風薫る』の二つの句が披露されました。

ガラシア会の敷地で一番高いところにある北館です。デイルームからの眺望も気に入って頂けるとと思います。未永く皆様に愛される施設になります様、よろしくお願い致します。

事務部長 福島 成之



新人職員紹介



リハビリテーション科
作業療法士
久宿 嘉己

4月にリハビリテーション科に入職しました、1年目作業療法士の久宿嘉己（ひさしくよしみ）です。私は大学の法学部へ進学後に、卒業と同時に知的障害者が通う作業所で支援員として働きました。そこで、利用者様のことを支援するためには生活を一緒に過ごすご家族様や住んでいる環境がとても大切だということを知りました。しかし、様々なご病気をもつ利用者様に対して、自分が医療的な知識や技術を持っていないことに不安になっていたところ、職場にいた作業療法士に利用者様の疾患の特徴からの支援方法を教えてもらいました。質の高い支援をするためには、医療的な知識と技術を基礎から学ぶ必要性を感じ、専門学校へ入学しなおしましたので現在30歳になります。ガラシア病院は全国でも質の高いホスピス病棟を持ち、地域住民への体力測定会を開催しているなど、地域に開かれた病院に魅力を感じ入職を希望しました。先輩方の豊富な知識や技術を少しでも吸収し、全ての患者様に対して質の高い個別対応ができる作業療法士になれるよう努力していきます。これから精一杯頑張っていきますので、応援戴きますよう宜しくお願いします。



新人職員研修にて

北館利用開始とホスピス棟移転について

2019年5月1日、平成から令和となった記念すべき日にガラシア病院の北館も利用開始となりました。利用開始に伴い、本館と一部中央館にあった3階と5階病棟（緩和ケア病棟／ホスピス）が北館へ移転しました。

病棟全体の移転は、ガラシア病院では初めての経験で、移転に向けての事前会議や実際のベッドを使った患者移転シミュレーションを行い、患者さんが当日安全にそして安心して新しい病棟に移れるよう事前確認を実施しました。

5月1日即位の日、祝日ではありましたが、多くの職員が出動し患者さんの移動をはじめ物品搬送に携わりました。午前中に旧3階病棟から北館1階へ、午後は旧5階病棟から北館2階病棟への移転となり、どちらの病棟も事前シミュレーションを行っていたためか

患者さんの移動もスムーズに行え、全体としては15時前に終了することができました。

当日、多大なるご負担とご協力をいただきました入院患者さんをはじめ、ご家族の皆様、移転経路となった老健デイクアご利用の皆様、不測の事態に待機くださった大成建設(株)の皆様、法人職員の皆様に感謝申し上げ移転の報告といたします。

事務部長(更新築準備室) 福島 成之



記憶力を鍛える生活習慣について

作業療法では、認知症の発症、や認知症の進行抑制、の為、日常生活における作業や、趣味、運動などのさまざまな活動を通して、脳に刺激を与えたり、達成感や喜びを感じたりすることで、うつ、や徘徊、などの認知症の周辺症状の軽減を図っています。

今回は、簡単な記憶力を鍛える生活習慣について、いくつかの例を紹介したいと思います。

①人との交流、や出会い、が脳の働きを活発にする!!

人と交わり、対面で会話をすることはリアルな言葉のキャッチボールである為、瞬間的な判断が求められます。これが脳にとって大きな訓練となります。それだけでなく、相手の表情、声の調子やそれまで得た情報から、付度、斟酌、することも脳の活性化に繋がります。家にこもらず、さまざまな地域活動を通して、他者との交流を深めることが推奨されます。

②脳に良い食材、食事の摂り方について

さば、さんま、いわし、などの青魚に含まれるDHA、EPAは血液の流れを良くすると言われています。また、納豆、豆腐、などの大豆製品に含まれるレシチンという脂質は、記憶を司る伝達物質の材料となり、記憶力低下を防止するそうです。

飲み物では、コーヒーのカフェインが脳皮質を中心に、中枢神経を興奮させることで、脳を覚醒させる作用があります。また、アルコールに関しては適量であれば、善玉コレステロールを増加させ、悪玉コレステロールを減少させる為、動脈硬化を防ぎ、脳血流を良くする作用があります。

③脳が鍛えられる趣味

料理、は「献立を考える」「材料を適切に切る」「片付けを考えながら用意する」「盛り付ける」など、脳をマルチに使用する為、記憶力増強に役立ちます。

読書、は短期記憶や感情への刺激など、脳に効果的な趣味の一つです。特に、読む、話す、聞くという音読、をすることで、より脳機能が賦活されます。

また、外に出て芸術を鑑賞する。機会は、普段行かない街に出向いて、周囲に注意を向けることや、芸術に触れて感動することが、脳に良い刺激を与えてくれます。

リハビリテーション科作業療法士 島津 健吾

ニューライフガラシアだより

利用者様と鯉のぼりを作りました。

毎年5月には鯉のぼりを中庭に飾っていますが、今年は大きな鯉のぼりが16匹泳いでいます。デイケア利用者様、入所されている利用者様手作りの力作と今年寄付していただいた巨大な鯉のぼりが新たに加わって、青空のもとたいへんにぎやかです。

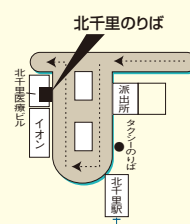
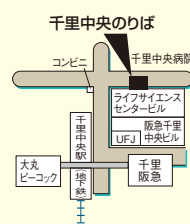
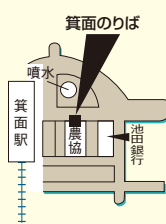
そして、令和元年を記念して、令和鯉のぼりを作りました。利用者様による令和の文字が白い鯉のぼりに揺られている様子を見ていると、一つの時代が終わり、新しい時代へ入ったのだなと思います。様々なことは移り変わっていきますが、鯉のぼりに込められた親が子供の成長を願い、健康を祈る気持ちの様にいつの時代にも変わらない思いは受け取って次へつなげていきたいものです。

ニューライフガラシア 川水 真奈美



●千里中央・北千里・箕面駅からシャトルバスを運行しています。

〈送迎バス各のりば〉



ガラシア訪問看護ステーション
TEL 072-727-1866 FAX 072-729-3311

介護老人保健施設
ニューライフガラシア
TEL 072-729-2346 FAX 072-729-7951

指定居宅介護支援事業所
ケアプラン ガラシア
TEL 072-729-2347 FAX 072-729-3311

箕面市東部地域包括支援センター
TEL 072-729-1711 FAX 072-730-2230

医療法人ガラシア会
ガラシア病院 日本医療機能評価機構認定病院

〒562-8567 大阪府箕面市栗生間谷西6丁目14番1号
TEL.072-729-2345 FAX.072-728-5166
<http://www.gratia.or.jp/>

■診療受付時間
平日／ 8:30～11:30
12:30～15:30
土曜日／ 8:30～11:30

■休診日
日曜、祝祭日、土曜午後
12/30～1/3

編集後記

今回の記事にもあるように病院増改築工事の第一期工事が終了し利用開始しました。令和になった5月1日、これまで20年以上『新館』と呼んでいた建物も今回の北館完成で『中央館』と呼ばれることになり、そして50年もの間、ガラシア病院を支えてくれた『本館』も『南館』として建て替わります。新元号と共に、職員も建物も新たな一歩を歩みはじめます。

N.F



編集・発行 広報委員会